

事務事業名	21117 スポーツ振興事業														
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	スポーツ担当			
組織コード	R1	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R1	01	10	05	01	02	01	記入日	令和元年 5月17日	
	H30	13	10	00		H30	01	10	05	01	02	01			

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補	
基本目標	01	子どもの成長と生涯にわたる学びのまち										○ 対象		
分野	05	スポーツ・レクリエーション										● 対象外		
施策	14	スポーツ・レクリエーション活動の推進												
事業期間	平成16年度～令和4年度													
根拠法令 通達等	スポーツ基本法					関連計画 施政方針	戸田市スポーツ推進計画							
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
対象	市民等													
事業目的	スポーツ・レクリエーション活動の振興、推進を図り、市民が生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに楽しむことのできる環境をつくる。													
事業内容	スポーツ振興全般に係る事務。スポーツ推進審議会を開催し、市のスポーツ振興に関する提言、助言を受け事業に反映する。													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託                      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ( )													

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成30年度 執行額(千円)	令和元年度 予算額(千円)	令和2年度 計画額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	
	事業費		3,071	5,417	5,417	5,417	5,417	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	9	9	9	9	
	一般財源		3,071	5,408	5,408	5,408	5,408	
	人件費		0	2,729.2	2,729.2	2,729.2	2,729.2	
	投入 人員	常勤職員	0人	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人	
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		3,071	8,146	8,146	8,146	8,146		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H29目標 H29実績	H30目標 H30実績	R1目標 R1実績
	活動①	スポーツ推進審議会開催日数	日			2	2	2
						2	2	-
	成果①	市主催のスポーツ教室の参加率	%	前年度実施分		80	80	80
						85.9	78.8	-
成果②							-	
目標達成 状況 の分析	B: 活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 戸田市スポーツ推進審議会を目標どおり2回開催し、戸田市スポーツ推進計画の進捗状況、戸田市スポーツ表彰規則の内容について審議したほか、東京2020オリンピック・パラリンピック事業の進捗状況について報告した。教室参加率の未達成については、日程、対象等の検討を行う必要があると考える。							

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	28年度	29年度	30年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> スポーツ推進の根幹をなす体育協会、レクリエーション協会を始めとした団体を構成員としたスポーツ推進審議会において、今後のスポーツ施策を協議検討している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	28年度	29年度	30年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 適正な範囲で行っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	28年度	29年度	30年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> スポーツ推進審議会に公募市民を加え、多様な視点からの意見を取り入れることができるよう取り組んでいる。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	28年度	29年度	30年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 適正に行っている。

## 4. 平成30年度中に実施した見直し内容

見直し内容	スポーツ推進審議会では、新たに創設したスポーツ賞や、オリンピック・パラリンピック事業について報告を行った。
見直しの効果	スポーツ賞やオリンピック・パラリンピック事業を議題としたところ、具体的な体験や知識により議論が活発に交わされた。

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了
	<判断理由> 「戸田市スポーツ推進計画」で定めた取り組みの進捗状況や、計画に基づく今後のスポーツ推進の在り方について、引き続き戸田市スポーツ推進審議会からの意見を聞き、推進事業を行っていく必要がある。
今後の取組方針	スポーツ推進審議会において、「戸田市スポーツ推進計画」の進捗状況を報告するとともに、審議された意見を事業に反映させながら、スポーツ情報の一元化や、地域資源の一層の活用を図り、市民のスポーツ実施率の向上に努める。

事務事業名	7556 スポーツ団体育成事業														
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	スポーツ担当			
組織コード	R1	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R1	01	10	05	01	02	03	記入日	令和元年 5月 9日	
	H30	13	10	00		H30	01	10	05	01	02	03			

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補	
基本目標	01	子どもの成長と生涯にわたる学びのまち										○ 対象		
分野	05	スポーツ・レクリエーション										● 対象外		
施策	14	スポーツ・レクリエーション活動の推進												
事業期間	平成17年度～令和3年度													
根拠法令 通達等	スポーツ基本法					関連計画 施政方針	戸田市スポーツ推進計画							
事業区分	○ 法定受託事務      ○ 自治事務のうち義務的なもの      ● 自治事務のうち任意のもの													
対象	市内スポーツ・レクリエーション団体等の会員。													
事業目的	戸田市体育協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団等の団体を育成・支援し、生涯スポーツの普及促進を図る。													
事業内容	各スポーツ・レクリエーション団体の運営支援を行う。													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input type="checkbox"/> 協働・協力 (      )													

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成30年度 執行額(千円)	令和元年度 予算額(千円)	令和2年度 計画額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	
	事業内容		スポーツ団体等の連絡調整と運営					
事業費			9,884	10,224	10,224	10,224	10,224	
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0	
	県支出金		0	0	0	0	0	
	起債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		9,884	10,224	10,224	10,224	10,224	
人件費			1,364.6	0	1,364.6	1,364.6	1,364.6	
投入 人員	常勤職員		0.2人	0人	0.2人	0.2人	0.2人	
	非常勤職員		0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費			11,249	10,224	11,589	11,589	11,589	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H29目標 H29実績	H30目標 H30実績	R1目標 R1実績
	活動①	市内スポーツ・レクリエーション団体数	団体			75	75	75
	活動②					75	75	-
	成果①	市内スポーツ・レクリエーション団体加入者数	人			21,000	21,000	21,000
	成果②					21,862	21,893	-
目標達成 状況 の分析	A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 市内スポーツ・レクリエーション協会等の団体数は、目標値を達成した。スポーツ・レクリエーション団体加入者数については、それぞれの団体の努力もあり、目標値も達成し、堅調な数値となっている。							

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	28年度	29年度	30年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 各団体への育成支援を行い、各種競技の競技力向上や普及につながっており、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	28年度	29年度	30年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 各団体とも適正に運営を行っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	28年度	29年度	30年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 各団体とも適正に運営を行っているが、更なる事務の効率化のため各団体の事務局機能の強化をさらに推進すべきと考える。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	28年度	29年度	30年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 各団体とも適正に運営を行っている。

## 4. 平成30年度中に実施した見直し内容

見直し内容	平成27年度よりスポーツセンターを中心にスポーツ・レクリエーション団体の連絡調整会議を設け、情報の共有及び協力体制の構築に取り組んでおり、漸次、体育協会・スポーツ少年団・レクリエーション協会の統合事務局の設置を目指した検討を行っている。
見直しの効果	各団体が市のスポーツの情報を共有し、一元的に市民に向けて発信できるようになる土台が形成されつつある。今後も定期的な連絡調整の場を設けるなど、支援を継続していく。

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了
	<判断理由> 健全なスポーツ・レクリエーション団体の育成は、市民の生涯スポーツを推進していくうえで、大変重要な役割を担っており、今後も引き続き効果的な運用ができるよう継続する必要がある。
今後の取組方針	補助金の枠組みの見直しや各団体の拠点の統合、またそれぞれの役割を明確にすることで、より効果的な運用ができるよう引き続き支援していく。また、各団体間の連携を図り、将来的にスポーツフェスタ等の開催を視野に置いて支援していく。

事務事業名	7528 スポーツ普及事業														
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	スポーツ担当			
組織コード	R1	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R1	01	10	05	01	02	04	記入日	令和元年 5月27日	
	H30	13	10	00		H30	01	10	05	01	02	04			

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	01 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	○ 対象 ● 対象外
分野	05 スポーツ・レクリエーション	
施策	14 スポーツ・レクリエーション活動の推進	
事業期間	平成17年度～令和3年度	
根拠法令 通達等	スポーツ基本法	戸田市スポーツ推進計画 関連計画 施政方針
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの	
対象	市民全般	
事業目的	戸田市独自でスポーツ・レクリエーション教室を開催し、市民がスポーツ・レクリエーションに触れる機会を増加し、生涯スポーツの普及を図る。	
事業内容	各種スポーツ・レクリエーション教室に加えて、戸田市の地域資源を活かしたボート・カヌー教室を実施する。競技スポーツ者への支援として全国大会・国際大会に出場する市民・チームに対して助成金を交付する。	
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 (      )	

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容	平成30年度 執行額(千円)	令和元年度 予算額(千円)	令和2年度 計画額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	
	事業費	6,128	10,001	10,001	10,001	10,001	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	84	84	84	84
		一般財源	6,128	9,917	9,917	9,917	9,917
	人件費	0	0	6,823	6,823	6,823	
	投入 人員	常勤職員	0人	0人	1人	1人	1人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		6,128	10,001	16,824	16,824	16,824	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式	H29目標 H29実績	H30目標 H30実績	R1目標 R1実績
	活動①	スポーツ教室開催日数	日	各種スポーツ教室開催日数の合計	30	30	30
	活動②				32	28	—
	成果①	スポーツ教室参加者数	人	各種スポーツ教室延べ参加者数の合計	600	580	600
	成果②				588	650	—
目標達成 状況 の分析	B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 平成30年度は、スポーツセンターの改修工事の関係でカヌー教室が開催できなかったため、開催日数は達成することができなかったものの、参加人数については、第3期ボート教室を2日に分けて開催したこともあり、目標人数を達成できた。						

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	28年度	29年度	30年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 年間を通して、戸田ポートコースや彩湖でのポート教室、カヌー教室を実施することで、スポーツ・レクリエーションに接する機会を増加させることができている。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	28年度	29年度	30年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 経費削減に努め適正に運営を行っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	28年度	29年度	30年度	B：事業手法は適正な内容である。
	C	B	B	<判断理由> 教室は専門的な知識を持った外部講師に委託するなど、効率的に事業を行っている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	28年度	29年度	30年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 参加費は保険料を基本としており、備品等の運搬費は経費の一部を受益者負担とし、適正な範囲で行っている。

## 4. 平成30年度中に実施した見直し内容

見直し内容	第3期ポート教室を2日に分けての開催とし、なるべく明るい時間に参加できるようにした。
見直しの効果	参加しやすい時間にすることで申し込みが増え、ポート競技の普及につながった。

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了
	<判断理由> 市民のスポーツ・レクリエーションに触れる機会の確保のため、継続していく必要がある。特に、地域資源を活かした「ポート教室」及び「ポート&カヌー体験教室in彩湖」については、今後も引き続き実施していく。
今後の取組方針	戸田独自の地域資源を生かした事業について、より多くの市民に参加してもらえるよう広報等の周知を行っていく。

事務事業名	7668 スポーツイベント開催事業														
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	スポーツ担当			
組織コード	R1	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R1	01	10	05	01	02	05	記入日	令和元年 5月 9日	
	H30	13	10	00		H30	01	10	05	01	02	05			

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	01 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	○ 対象 ● 対象外
分野	05 スポーツ・レクリエーション	
施策	14 スポーツ・レクリエーション活動の推進	
事業期間	昭和59年度～令和3年度	
根拠法令 通達等	スポーツ基本法	戸田市スポーツ推進計画 関連計画 施政方針
事業区分	○ 法定受託事務      ○ 自治事務のうち義務的なもの      ● 自治事務のうち任意のもの	
対象	市民等	
事業目的	スポーツ・レクリエーションイベントを開催し、市民がスポーツ・レクリエーションに接する機会の拡大を図るとともに、スポーツレクリエーションを通して戸田市の魅力を市内外に広めることにより地域資源の活性化を図る。	
事業内容	・市民主体による実行委員会方式で、市民体育祭地区大会やマラソン大会等のイベントを開催する。	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 ( 実行委員会 )	

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容	平成30年度 執行額(千円)	令和元年度 予算額(千円)	令和2年度 計画額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	
	事業費	13,450	15,347	15,347	15,347	15,347	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	13,450	15,347	15,347	15,347	15,347	
	人件費	12,281.4	12,281.4	12,281.4	12,281.4	12,281.4	
	投入 人員	常勤職員	1.8人	1.8人	1.8人	1.8人	1.8人
		非常勤職員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人
事業費+人件費	25,731	27,628	27,628	27,628	27,628		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式	H29目標 H29実績	H30目標 H30実績	R1目標 R1実績
	活動①	スポーツイベント開催回数	回		4	3	3
	活動②				3	3	-
	成果①	戸田マラソン申込者数	人		6,300	6,300	6,300
					6,695	6,623	-
	成果②	戸田市民体育祭地区大会参加者数	人		8,200	8,000	8,000
-					7,079	-	
目標達成 状況 の分析	B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> スポーツイベント開催回数について、目標どおりとなった。戸田マラソン申込者数については、前年と比べてほぼ変わらない人数であった。市民体育祭参加者数については、各町会・自治会で参加者増に向けた工夫をしているものの、町会・自治会等の加入率が下がっている現状もあり、目標を達成できなかった。						

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	28年度	29年度	30年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 市民体育祭は市民にとって一大イベントとなっており、毎年多くの市民が参加し、スポーツをする機会を得ている。また、戸田マラソンは、市民の健康増進に寄与するだけでなく、全国から多くの参加者を得ており、戸田市の魅力を広報できる機会となっている。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	28年度	29年度	30年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> イベントの実施内容は適宜見直しており、併せて経費の効率化についても検討を行っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	28年度	29年度	30年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 規模の大きいイベントについては、町会や関係団体で構成する実行委員会において実施内容等を決定しており、適切である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	28年度	29年度	30年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> ほとんどのイベントで適切な金額の参加費を徴収している。

## 4. 平成30年度中に実施した見直し内容

見直し内容	なし
見直しの効果	なし

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了
	<判断理由> 戸田マラソンについては、参加者の拡大を図りつつ、現状の規模で維持していく。戸田市民体育祭地区大会については、町会が中心となって実施しているが、町会未加入者が増えているため、町会未加入者でも気軽に参加できるような運営方法を検討していく。
今後の取組方針	戸田マラソンについて、イベントの周知方法を見直し、参加者の拡大を図っていく。

事務事業名	7449 スポーツ交流事業														
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	スポーツ担当			
組織コード	R1	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R1	01	10	05	01	02	06	記入日	令和元年 5月21日	
	H30	13	10	00		H30	01	10	05	01	02	06			

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補	
基本目標	01	子どもの成長と生涯にわたる学びのまち										○ 対象		
分野	05	スポーツ・レクリエーション										● 対象外		
施策	14	スポーツ・レクリエーション活動の推進												
事業期間	平成17年度～令和3年度													
根拠法令 通達等	スポーツ基本法					関連計画 施政方針	戸田市スポーツ推進計画							
事業区分	○ 法定受託事務      ○ 自治事務のうち義務的なもの      ● 自治事務のうち任意のもの													
対象	市民、戸田市及び該当する市町村の競技団体の会員。													
事業目的	スポーツを通じて、県南4市・姉妹都市等との地域交流と競技力の向上を推進する。													
事業内容	①美里町のスポーツ交流の企画、参加 ②ポートサミット等への参加 ③交流レガッタへ市代表クルーを派遣する。													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託                    ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 (                )													

2. 実施結果

		平成30年度 執行額(千円)	令和元年度 予算額(千円)	令和2年度 計画額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	事業内容	姉妹都市等とのスポーツ交流	姉妹都市等とのスポーツ交流	姉妹都市等とのスポーツ交流	姉妹都市等とのスポーツ交流	姉妹都市等とのスポーツ交流	
	事業費	2,621	3,328	3,328	3,328	3,328	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,621	3,328	3,328	3,328	3,328
		人件費	0	2,046.9	2,046.9	2,046.9	2,046.9
	投入 人員	常勤職員	0人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
	事業費+人件費	2,621	5,375	5,375	5,375	5,375	

	指標名	単位	説明・算定式	H29目標	H30目標	R1目標
				H29実績	H30実績	R1実績
目標達成 状況	活動①	スポーツ交流実施日数	都市交流事業延べ日数	15	15	13
				14	13	-
	活動②	ポート学生との交流イベント実施回数		1	1	1
				1	1	-
成果①	成果①	スポーツ交流事業参加者数	都市交流事業参加者数	390	390	390
				380	423	-
成果②	成果②					-
						-

目標達成 状況 の分析	B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 姉妹都市交流のサッカー大会は、高温の影響で中止となったため、実施日数を達成できなかったが、参加者数は達成できた。 ポート学生と地域住民との交流イベントは目標を達成できた。					
-------------------	--	--	--	--	--	--

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	28年度	29年度	30年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 姉妹都市とのスポーツ交流や市町村交流レガッタへの参加は、地域交流と競技力向上に大きく貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	28年度	29年度	30年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 主に旅費、移動を伴う賃借料、負担金及び助成金であるが、最小限度の経費で事業運営を行っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	28年度	29年度	30年度	B：事業手法は適正な内容である。
	C	B	B	<判断理由> 市民を中心に、姉妹都市や全国ポート場所在市町村と活発な交流が図られている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	28年度	29年度	30年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 事業の受益に対する負担が適正である。

## 4. 平成30年度中に実施した見直し内容

見直し内容	なし
見直しの効果	なし

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了
	<判断理由> 令和2年度には東京2020オリンピック・パラリンピックの開催と、スポーツ全般またはポート競技を市民へPRする大きなチャンスを迎える。そのことから、関係団体等とも連携を図りながら、計画的な事業の展開を実施していく。
今後の取組方針	スポーツを通じて姉妹都市等の人々とより一層交流を深めていく。加えて、ポートに関しては、オリンピック1年前イベント等を行い、そのなかで、市民がポートを楽しむ機会の拡充や地域の活性化につなげていく事業を行っていく。

事務事業名	50610 オリンピック・パラリンピック推進事業													
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	リビ <sup>°</sup> ック・パ <sup>°</sup> ラリンビ <sup>°</sup> ック担当		
組織コード	R1	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R1	01	10	05	01	02	07	記入日	令和元年 5月24日
	H30	13	10	00		H30	01	10	05	01	02	07		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	01 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	● 対象  ○ 対象外
分野	05 スポーツ・レクリエーション	
施策	14 スポーツ・レクリエーション活動の推進	
事業期間	平成29年度～令和3年度	
根拠法令 通達等	スポーツ基本法	戸田市スポーツ推進計画 平成29年度施政方針
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの	
対象	市民	
事業目的	東京オリンピック・パラリンピックを通じて「スポーツの力」を市民に伝えることで人々に希望を与え、スポーツ・レクリエーション活動の推進を図るだけでなく、文化の醸成や共生社会の実現に向けた次世代への「遺産（レガシー）」の創出を推進する。	
事業内容	オリンピック・パラリンピック事業推進本部及び実行委員会を設置し、本市におけるオリンピック・パラリンピックを通じたレガシー創出に向けて、全庁的に取り組む。	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 ( 埼玉県ホ <sup>°</sup> ート協会 )	

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成30年度 執行額(千円)	令和元年度 予算額(千円)	令和2年度 計画額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)
	事業費		2,978	9,776	25,000	3,000	0
	財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,978	9,776	25,000	3,000	0
	人件費		13,646	17,057.5	27,292	6,823	0
	投入 人員	常勤職員	2人	2.5人	4人	1人	0人
		非常勤職員	0人	0人	1人	0人	0人
事業費+人件費		16,624	26,834	52,292	9,823	0	
目標 達成 状況	指標名		単位	説明・算定式	H29目標 H29実績	H30目標 H30実績	R1目標 R1実績
	活動①	気運醸成イベントの回数	回	オリパラに対する市民の気運醸成イベント実施		3	3
	活動②					3	-
	成果①	東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地の受入	国			0	1
	成果②	「応援プログラム」の実施事業	事業	市内における応援プログラム事業実施数		5 29	- 30
目標達成 状況 の分析	A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 気運醸成イベントを目標どおり開催し、各部署による「応援プログラム」事業については、幅広く、積極的に実施することができており、目標を達成した。						

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	28年度	29年度	30年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	—	B	B	<判断理由> 東京オリンピック・パラリンピックに対する市民の気運を高めることで、スポーツ・レクリエーションへの関心の喚起を図れている。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	28年度	29年度	30年度	B：経費は適正な範囲である。
	—	B	B	<判断理由> 気運醸成のためのイベントを柔軟に開催するため、繰り返し使用できる物品の作成・購入を行い、費用の節減に努めている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	28年度	29年度	30年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	—	B	A	<判断理由> オリパラ組織委員会や埼玉県推進委員会の動きに対応できるように対処している。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	28年度	29年度	30年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	—	B	B	<判断理由> スポーツ・レクリエーションに携わる人だけでなく、文化や芸能などにもプログラムを拡大し、広く市民の関心を高めるよう取り組んでいる。

## 4. 平成30年度中に実施した見直し内容

見直し内容	オリンピック・パラリンピックのそれぞれ2年前を記念してイベントを開催し、気運醸成に努めた。オリンピック・パラリンピックに向けて競技に取り組む方を始め、顕著な成績を残された方を顕彰する制度として「戸田市スポーツ賞」を創設した。
見直しの効果	市内ショッピングセンターで気運醸成イベントを開催したこともあり、多くの方に認知してもらうことができた。また、想定以上の人数を「スポーツ賞」で表彰することができ、オリンピック・パラリンピックへの盛り上がりのおかげ作りに貢献した。

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続      ● 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了
	<判断理由> 2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向かって、市内における気運醸成を図るとともに、この機会を活かしたイベント等を実施し、レガシー創出のための取り組みを進めていくため、集中的に事業に取り組んでいく。オリンピック・パラリンピック終了後は事業を縮小していく。
今後の取組方針	2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けた市内の気運醸成を図るとともに、本市の地域資源であるポートの魅力を広く発信していき、市民のスポーツ・レクリエーション活動の推進を図っていく。オリンピック・パラリンピック終了後は、ポートのまちとしての啓発や市内スポーツ・レクリエーション全体の推進に努められるよう、現状との取り組みと融合を図る。